

令和 8 年 1 月 11 日

# 特別区人事・厚生事務組合 23区合同説明会

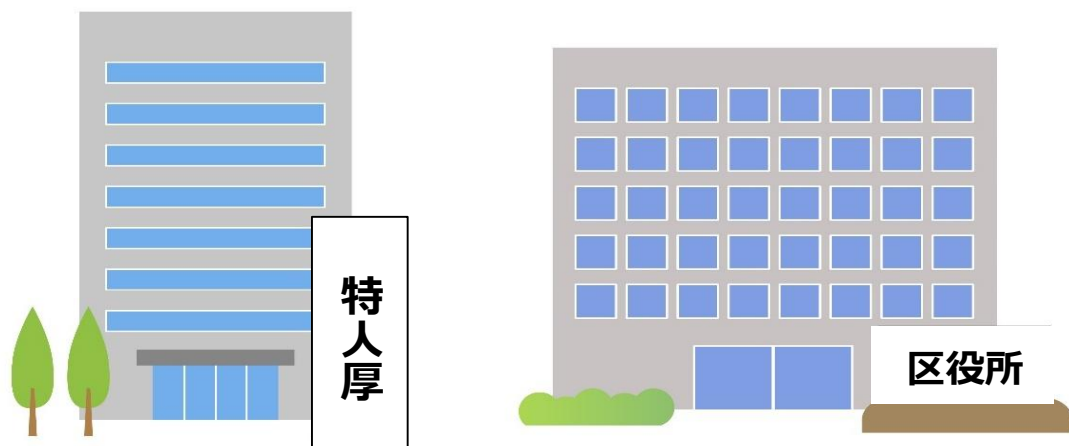
TOKYO  
23区

# 1

## **特別区人事・厚生事務組合について**

# 特人厚（特別区人事・厚生事務組合）とは？

- ✓ 23区が行う事務の一部を共同で処理するために設立された、地方自治法に基づく「**一部事務組合**」
- ✓ 特人厚で働いている職員は、23区の区役所の職員と同じ、**特別区職員の身分を持つ地方公務員**



※ 同じ言葉ですが、労働組合の「組合」とは異なります

# 事務の共同処理とは？

- ✓ 23区が「人事」と「厚生」に係る事務の一部を協力・連携して処理するために特人厚を設置
- ✓ 類似の業務を特人厚が集中的・専門的に処理することで、事務の効率的・安定的な運営につなげている

## 特別区（東京23区）

区民生活

子育て

環境

防災

まちづくり

人事

厚生

## 特別区人事・厚生事務組合

人事に関する事務

厚生に関する事務

# 特人厚のプロフィール

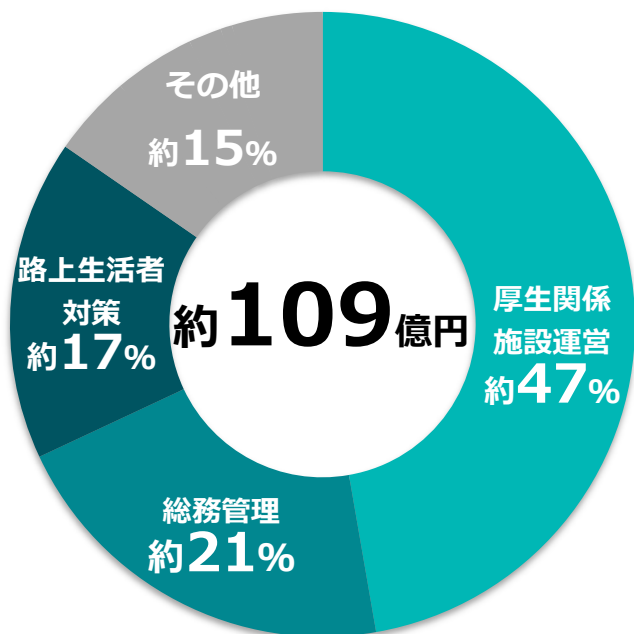
## 設立

昭和26年 8月10日

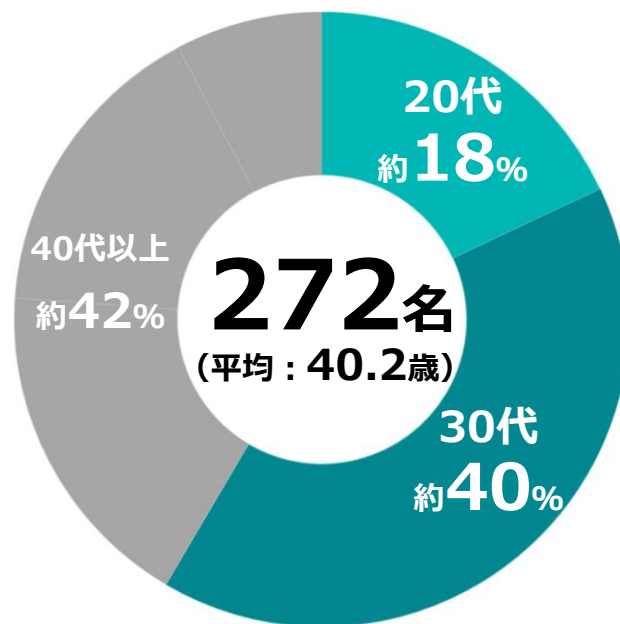
## 本庁舎所在地

千代田区飯田橋 3 - 5 - 1  
東京区政会館

## 予算額 (令和7年度)



## 職員数 (令和7年4月1日現在)



# 特人厚のプロフィール

## 勤務場所



**本庁舎（東京区政会館）**

最寄駅：飯田橋駅（徒歩 2 分）



**特別区職員研修所**

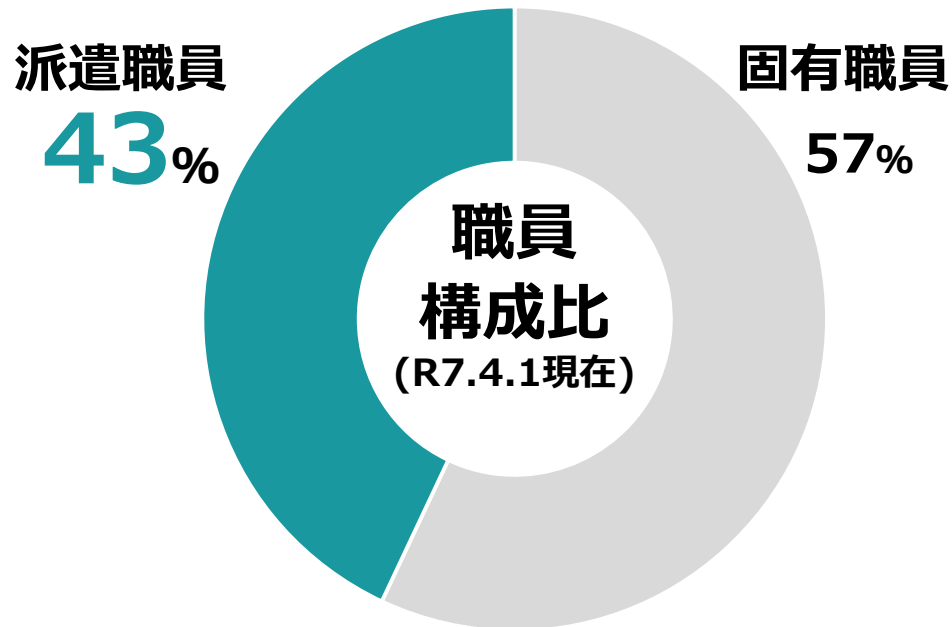
最寄駅：九段下駅（徒歩 1 分）

# 特人厚の特色

Point

## 01 多様な人材が集まる組織

- ✓ 約 **4** 割が23区や東京都からの派遣職員
- ✓ 多様な価値観や経験を持つ職員と一緒に仕事ができる





# 特人厚の特色

Point

## 02 23区を支える組織

23区全体の視野を持ち  
企画・調整

人事企画部/  
教育委員会事務局

法務部

特別区職員研修所

特別区人事委員会事務局

区民のために働く  
23区職員を支える

特別区職員  
互助組合

生活困窮者等のため  
23区の厚生関係施設  
を設置・管理

厚生部

E t c ...

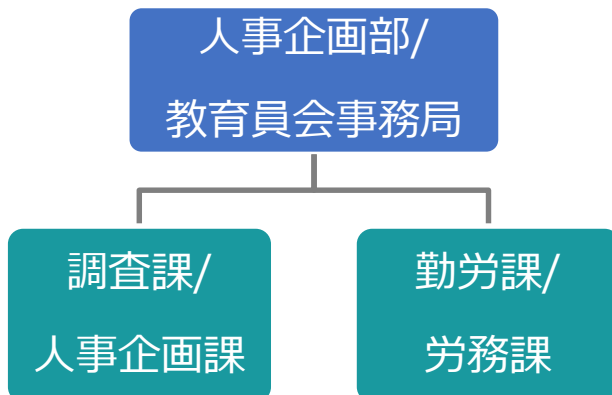


# 主な部署の紹介

## 人事企画部 / 教育委員会事務局



- ✓ 23区では、人事制度を円滑に運営するために互いに協力し、職員の給与や採用、昇任、給料表、昇給などに関する「特別区共通の基準」を定めており、人事企画部では、その基準の企画や立案などを担っています
- ✓ 人事企画部の職員は、特人厚の教育委員会事務局職員を兼務しており、教育委員会事務局では、特別区立幼稚園教員の採用・昇任選考、研修などを行っています



# 主な部署の紹介

## 法務部



- ✓ 23区から依頼に基づき、訴訟事件に関する事務を行っています
- ✓ 23区からの係争のおそれのある事件などに関する相談に対し、法的な面からのアドバイスを行っています

法務部が作成した「自治体訴訟事件事例ハンドブック」  
一般向けにも販売しています



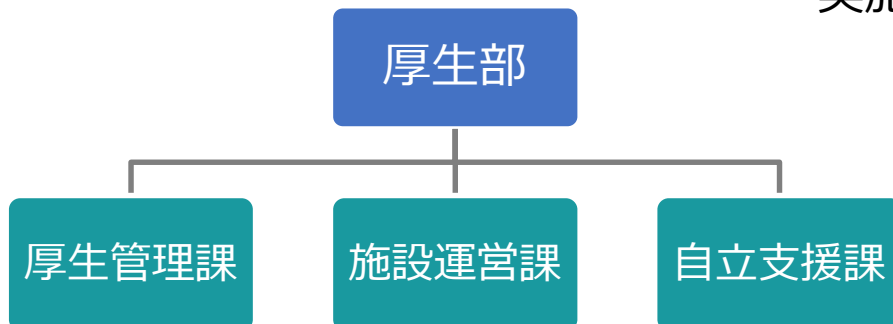
# 主な部署の紹介

## 厚生部



厚生関係施設の入所調整などを行う  
施設運営課（通称：バックアップセンター）

- ✓ 生活に困窮している方や支援を必要とする方のため、厚生関係施設を設置し、管理・運営、入所調整などを行っています
- ✓ 厚生関係施設は、「更生施設」「宿所提供施設」「宿泊所」の3種類があり、各施設の目的に沿って様々な支援や居室を提供しています
- ✓ また、路上生活者の方を適切な支援につなげたり、東京都と共同で地域生活への移行を支援する事業を実施しています

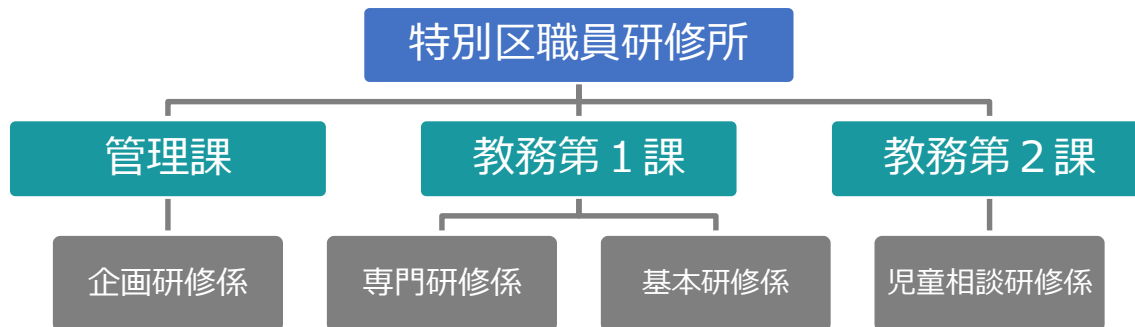


# 主な部署の紹介

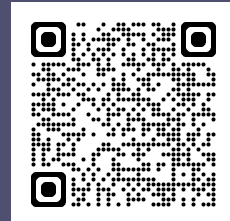
## 特別区職員研修所



- ✓ 23区の職員が参加する共同研修の企画・実施を通じて、23区の人材育成を支え、より良い区民サービスの提供に貢献しています
- ✓ 新規採用職員から係長、管理職まで、それぞれの役職に必要な知識や能力を高める「職層研修」、戸籍・税務など地方自治体特有の業務に関する「専門研修」、子ども家庭福祉分野に必要な知識やスキルを身につける「児童相談所関連研修」など、多彩な研修メニューを取り揃えています

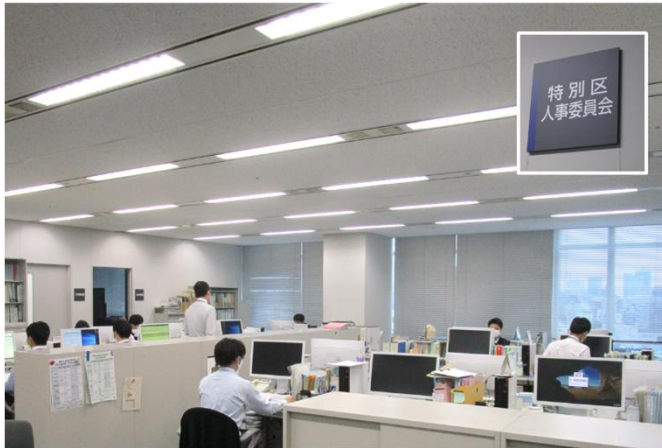


研修所が実施している  
共同研修の詳細はこちら

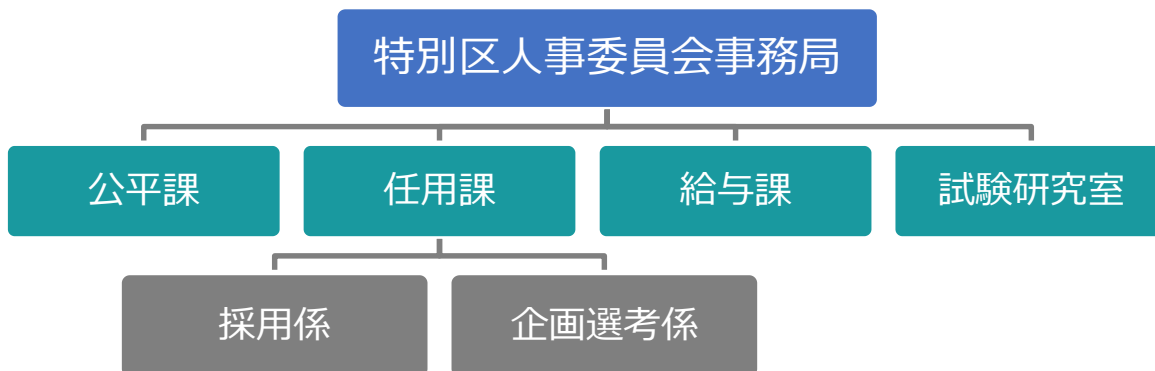


# 主な部署の紹介

## 特別区人事委員会事務局



- ✓ 「人事委員会」とは、民主的かつ能率的な人事行政を保障する専門的な人事行政機関で、特別区人事委員会は全国で唯一、自治体が連合して設置しています
- ✓ 特別区職員の採用試験・選考等のほか、職員の給与をはじめとした勤務条件について23区長と区議会に行う勧告（いわゆる「人事委員会勧告」）に関する事務、各区が職員に対して行った不利益処分について審査請求があった場合の対応などに関する事務を行っています



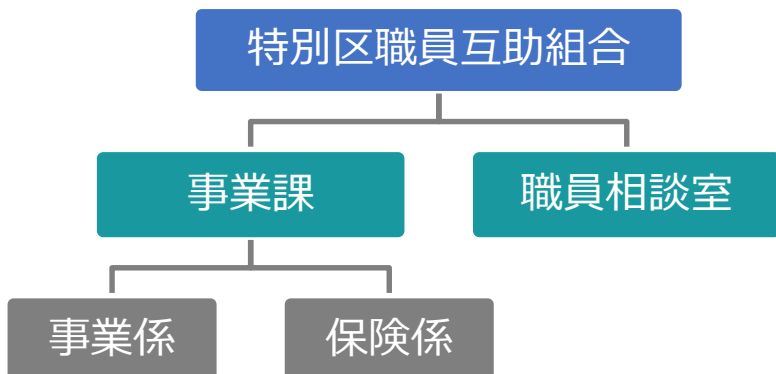


# 主な部署の紹介

## 特別区職員互助組合



- ✓ 23区及び一部事務組合の職員を組合員として、職員の相互共済及び福利のための事業を担う組織です
- ✓ 組合員は約69,000人で、そのスケールメリットを最大限生かした事業の運営を行っています
- ✓ 組合員向けの保険や会員制施設の提供をはじめとした生活支援、職員相談など、職員のライフサイクルに応じた様々なメニューを提供しています



# 関連団体の紹介

## 公益財団法人特別区協議会



公益財団法人特別区協議会の  
公式キャラクター「とくべつクマ」



東京区政会館 4 階に入居する  
「特別区自治情報・交流センター」

- ✓ 特別区制度に関する調査研究、特別区に関連する各種資料の収集・提供、都民や特別区議会議員、都内自治体職員を対象にした講座・講演会の開催や地域の魅力を発信する企画展示等を実施しています
- ✓ また、「特別区長会調査研究機構」の事務局として、特別区や地方行政に関わる課題について調査研究を行っています
- ✓ 他にも、特別区長会事務局をはじめとする他団体と連携し、「特別区全国連携プロジェクト」や「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」等の事業を実施しています



# 関連団体の紹介

## 特別区長会事務局



23区長が参加する「特別区長会」の様子



令和8年度 国の施策及び予算に関する要望書を  
仁木厚生労働副大臣へ提出  
※写真中央：吉住健一特別区長会会長（新宿区長）

- ✓ 「特別区長会」は、特別区間の連携を図り、特別区政の円滑な運営と特別区の自治の進展に資するため、特別区の23区長が組織する団体です
- ✓ 特別区長会事務局は、特別区長会会長の命を受け、特別区に共通する課題に関する連絡調整や調査研究などを行い、特別区の自治の進展を図るために必要な施策の立案・推進などを行っています
- ✓ 他にも公益財団法人特別区協議会と協力し、23区を含む全国各地域との共存共栄を目的とした「特別区全国連携プロジェクト」や都内62市区町村と連携した「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」等の事業を実施しています

# 近年の採用状況

採用年度	R 7	R 6	R 5	R 4	R 3
採用者数	10名	5名	7名	9名	8名

## 採用区分

I 類、障害者を対象とする採用選考、経験者【1級職】

※年度によっては採用がない区分もあります。

## 採用職種

事務（一般事務）

# 2

## 先輩職員の近況

# 先輩職員の近況

所 属：人事企画部調査課  
採用区分：I 類採用（採用4年目）

## ある1日のスケジュール

6:00	・起床 身支度し、朝食を食べる
7:30	・自宅出発 電車の中で自分の時間を過ごす
8:20	・職場に到着 1日のスケジュールやメールの確認
8:30	・始業 近日中に会議体があるため、資料の作成
10:00	・作成した資料を班内でレクチャー
12:00	・昼食 飯田橋周辺は飲食店が沢山あるため、事前に今日行くお店を決めておく
13:00	・他職員の別案件のレクチャーへ参加
15:00	・午前中のレクチャーで出た意見を参考に資料の修正
16:00	・先月の会議体で調査依頼を行った調査票に対する各区回答のとりまとめ
17:15	・退庁 日によっては帰りがけにジムへ行く

## 特人厚を志望したきっかけ

23区全体の奉仕者だからこそできる経験や仕事に魅力を感じました。様々な区の人と関わることができ、自己の視野を広げたいと思ったことや23区全体に関わるような仕事がしたいと思い当組合を志望しました。

## 現在の仕事のやりがい

23区における採用制度や昇任制度等の人事制度について、新規制度の構築や現制度の見直しをしています。  
検討を行った人事制度を最終的に労働組合と交渉を行い、妥結し23区の人事制度とします。自分たちで考えた人事制度が23区全体の人事制度となることはやりがいを感じます。

## 成長したこと（よかったこと）

23区から派遣されている職員の方々と仕事することに日々とても刺激を受けています。  
人事制度の案を作成する際には、班全員で議論をしていきながら作っていきます。そのため、様々な視点で物事を考える機会が多く、自分の視野が広がりました。

# 先輩職員の近況

所 属：特別区人事委員会事務局給与課  
採用区分：I 類採用（採用6年目）

## ある1日のスケジュール

5:30	・起床 早めに起きてゆっくり支度するのが理想
7:30	・自宅を出発
8:30	・始業 1日のスケジュールとメールをチェック
9:00	・勧告式の会場設営 資料部数や配付間違いがないか慎重に確認
11:00	・勧告式 給与課にとって1年で最も大事な日
12:00	・昼休み 大先輩におすすめのごはん屋さんに連れて行ってもらい、ランチ
14:00	・勧告書をHPに掲載
15:00	・会場原状復帰 会議室の机と椅子は重いので重労働
16:00	・勧告式の反省会
17:15	・退庁 明日やることを整理して退庁

## 特人厚を志望したきっかけ

23区合同説明会で特人厚を知り、民間企業から特人厚へ転職しました。

23区全体に影響を与える仕事ができる点や、各区から職員の派遣を受けているため、一つの職場で様々な人と交流ができる点に魅力を感じ、志望しました。

## 現在の仕事のやりがい

23区職員の給与勧告を行う部署で、職員の給与等実態調査や民間企業の給与実態調査等に携わっています。4月から課内全員で調査を開始し、給与勧告に向けて準備を進めます。

勧告式が終わり、給与勧告の内容が取り上げられた新聞記事などを見た時に「23区に大きな影響を与える仕事だ」と実感します。

## 成長したこと（よかったこと）

人事委員会事務局の職員の多くは各区から派遣された優秀な方々です。業務遂行能力だけでなく、コミュニケーション能力にも見習うところが多く、良い刺激をもらえます。

また、特人厚は小規模な職場で、上司や先輩職員との距離が近いです。様々な場面で周囲と相談しながら仕事を進めていく必要があるので、事前調整を大事にするようになりました。

# 先輩職員の近況

所 属：特別区長会事務局調査第2課  
採用区分：I 類採用（採用6年目）

## ある1日のスケジュール

6：00	・起床 朝ごはんをしっかり食べて出発準備
6：40	・電車に乗って通勤。動画視聴や読書をして気分を上げる
8：20	・登庁 パソコンを起動し、1日のスケジュール確認やメールをチェック
8：30	・始業 都との打ち合わせのための資料の準備
10：15	・遅めの朝礼 係内で今日の予定を確認
11：45	・打合せに向けて都庁へ出発
12：15	・都庁近くの和食料理店でランチ
13：00	・都職員との打ち合わせ 区側の提案内容の説明
15：30	・説明終了 長丁場で疲れはあるが開放感は一入
16：15	・帰庁 打合せ時の内容整理を行い、帰宅準備
17：15	・退庁 帰宅後はランニングで心身ともにリフレッシュ

## 特人厚を志望したきっかけ

2年間、民間企業で働いた後転職しました。  
特別区は人口規模が大きく、外国人住民や高齢者、子育て世代など多様なニーズがあり、幅広い行政課題に取り組める点が魅力だと思っています。その中でも当組合を志望した理由は23区に係る共同処理事務を担う組織であり、特別区全体に影響のある仕事ができることに魅力を感じたためです。

## 現在の仕事のやりがい

都区財政調整に係る協議を行う部署に在籍しています。協議に係る資料の作成や23区との調整が主な仕事内容です。協議の結果が23区の財政に影響するため、責任の大きい仕事ではありますが、職員同士で助け合いながらやりがいをもって日々過ごすことができています。

## 成長したこと（よかったこと）

区長会事務局に限らず特人厚には23区からいろいろな経験を持った職員が派遣されるため、様々な交流が生まれると同時に仕事面でも学ぶべきことが多いです。また、仕事で困ったことがあった時に先輩職員に相談しやすく、職員同士協力しあって仕事を進めていく風土があり、仕事がしやすい職場だと感じています。

# 先輩職員の近況

所 属：厚生部厚生管理課  
採用区分：I 類採用（採用1年目）

## ある1日のスケジュール

5：20	・起床 現場調査があるので天気を確認
6：30	・自宅出発
8：30	・始業 メールや1日のスケジュールの確認
9：00	・文書交換便業務 各厚生施設宛の交換便の取りまとめ
9：40	・災害発生場所の現場調査 実際に公務災害が起きた場所に足を運び、道路の幅の測定や、 段差の有無について、現場写真を撮るなどして確認
12：00	・昼食 出張したときは外で上司や先輩と食事
13：00	・職場に戻り、現場で撮った写真を整理しながら概要を作成
15：10	・文書交換便仕分け業務 各厚生施設から届いた交換便を宛先ごとに分けて配付
15：40	・各区から送られてきた公務災害の請求書類のチェック 書類に不備がある場合は、修正依頼の文書を作成
17：15	・退庁

## 特人厚を志望したきっかけ

もともと公務員を志望しており、大学3年生のときに23区合同説明会に参加しました。特人厚の説明を聞き、各区からの派遣職員の方とも関わることができる点や、自分の業務が特別区全体の役に立つことができる点など、他の区役所とは異なる点に魅力を感じ、当組合を志望しました。

## 現在の仕事のやりがい

23区で働く非常勤職員の公務災害補償に係る事務と、文書交換便の仕分け等の庶務の業務に携わっています。具体的には、各区から送られてくる請求書類を確認し、公務災害として認定等する事務です。書類に不備のあるものについては、区へ修正依頼を行います。この過程で、区の担当者と書面のやり取りを何度も行うこともあり、公務災害認定の決裁が下りたときはやりがいを感じます。

## 成長したこと（よかったこと）

入庁してから上司に、ただ事務処理を行うだけでなく、なぜそのようになるのか説明できるようになるのが、公務員として求められる姿であると教えていただきました。そのため、業務にあたる際には、常に条例・規則等で根拠を調べ、不明な点は上司に確認するように努め、組織の一員であるという自覚を持って職務を遂行できるようになりました。



# 先輩職員の近況

所 属：特別区職員研修所管理課企画研修係  
採用区分：I 類採用（採用8年目）

## ある1日のスケジュール

6:20	・起床 朝食を食べつつお弁当を作る
7:20	・自宅出発 電車内では、本を読んだり音楽を聴いて過ごす
8:30	・始業 1日のスケジュール確認とメールをチェック 本日午後の管理監督者を対象とした研修に備えて段取り等を確認
10:00	・係員と協力して研修室の設営 テキストの配布、講師用パソコンの投影準備、音響設備の調整を行う
12:00	・昼休憩。今朝頑張って作ったお弁当を食べる ※研修所周辺には美味しいお店がたくさんあります
13:00	・研修開始まで研修生の出席確認や、その他の事務作業を行う
14:30	・講師を出迎え、登壇前の最終確認を行う
15:00	・研修開始 研修生へ受講にあたっての事務連絡及び講師紹介。その後、遅参・欠席者の確認、音響や空調の調整、マイク回し等、研修の運営補助を行う
16:00	・教室後方で研修を聴講 内容や時間配分、気付いた点等を次回の研修運営に反映できるよう記録
17:00	・研修終了 講師にお礼を伝えてお見送り。その後、片付け等を行う
17:15	・翌日にやることをメモして、退庁

## 特人厚を志望したきっかけ

23区の共同処理事務という専門性の高い業務を行っている特人厚に興味を持ちました。また、一つの組織や地域だけでなく特別区全体に働きかけることができ、ひいては区民生活を下支えすることにつながられる点に魅力を感じました。

## 現在の仕事のやりがい

特別区職員研修所では、様々な研修を企画運営しています。共同研修を通じて、職員の職務に必要な能力の向上や、区民に対するより良いサービスの提供につなげることができる仕事にやりがいを感じています。

また、経験年数に関わらず、研修の企画から実施までを任せてもらえるので、責任を伴いますが、研修生から「受講して良かった」「非常に役に立った」等の意見をもらった時には大きな達成感を得られます。

## 成長したこと（よかったこと）

研修を実施するまでには、各区のニーズを汲み取り、研修カリキュラムを企画し、講師選定等を行っています。このことを通して企画や立案する力が身についたと思います。

また、複数の研修準備を同時に進めることもあり、期間内に着実に研修を実施するためスケジュールを立てて計画的に職務を遂行していくことを、より一層心がけるようになりました。

# 先輩職員の近況

所 属：教育委員会事務局人事企画課  
採用区分：I 類採用（採用7年目）

## ある1日のスケジュール

6:45	・起床
7:30	・自宅出発
8:00	・登庁 リフレッシュコーナーで朝食
8:30	・始業 1日のスケジュール・メールを確認
9:00	・新規採用教員向けパンフレット・募集案内の校正 次年度の募集に向け募集案内を校正
11:00	・提示準備 各区教育委員会の依頼に基づき、採用候補者名簿の提示に向け準備
12:00	・昼食 自席でお弁当を食べた後、仮眠
13:30	・特別区人事・厚生事務組合教育委員会に陪席 幼稚園教員の採用に関する議案等について、質疑等を記録
16:00	・学校説明会の実施 大学や教員養成校へ赴き、現職の特別区立幼稚園教員と一緒に、仕事の魅力や採用選考の概要について、参加者に分かりやすく伝える
17:15	・学校説明会から自宅へ直帰 帰宅後は、ジムへ

## 特人厚を志望したきっかけ

大学3年生時に合同説明会に参加し、特人厚の業務内容を知りました。23区等から派遣される職員の方々と協力しながら業務を進め、その成果が23区全体に反映される点に大きな魅力を感じたのが、きっかけです。

## 現在の仕事のやりがい

主に特別区立幼稚園教員の新規採用選考に携わっています。受験申込から最終合格発表、各区教育委員会への提示まで一連の業務を担当し、区切りごとに達成感を感じています。自分の業務は受験者にとって不可欠なものであり、特別区全体に影響があるため、責任も大きいですが、その分やりがいを感じて業務に取り組んでいます。

## 成長したこと（よかったこと）

打合せや学校説明会等で人前で説明する機会に恵まれ、分かりやすく伝える力が向上したと感じています。説明会では緊張することもあります。経験を重ねることで、自信へと繋がり、貴重な経験を積みかせてもらっています。

また、23区等から派遣される多様な経歴を持つ職員と共に業務に取り組むことで、日々刺激を受けています。これらの経験を通じて、自分自身の成長を感じています。

# 先輩職員の近況

所 属：法務部

採用区分：I 類採用（採用2年目）

## ある1日のスケジュール

7:00	・起床
8:20	・登庁 パソコン立ち上げ等の始業準備
8:30	・始業 今日のスケジュールを確認。退庁後にきた書面やメールを確認し対応
9:20	・東京地方裁判所へ出張 今日は裁判期日が入っているため、書類を準備し区政会館を出発
10:00	・裁判開廷 法廷内に入り期日進行のメモを取る
10:30	・裁判閉廷 裁判所で区の法務課や所管課と軽い打合せをして区政会館に戻る
12:00	・昼食
13:00	・本日の裁判の期日経過を忘れないように記録を作成
14:00	・別の訴訟の証拠説明書案を作成。他の指定代理人に内容確認を依頼
16:00	・特別区法務資料発刊に備え、文書の確認作業
17:15	・明日のスケジュールを確認し、退庁

## 特人厚を志望したきっかけ

前職では、国家公務員として約5年ほど働き、I 類採用区分で入庁しました。研修等の人事系の仕事に興味を持ち、転職を決意しました。特人厚を志望したのは、人事院に転職して人事政策を行うよりも、国民の方々との距離が近く、自身が行った業務の影響が分かり易く、やりがいを感じやすいのではないかと考えたためです。

## 現在の仕事のやりがい

法務部では、23区専用の法律事務所のような役割を担っており、区長より事件の依頼を受け、区の指定代理人として裁判事務を行っています。訴訟の内容は、学校事故や生活保護関係など多岐にわたり、様々な法令や行政実務に触れながら自分自身の知識を深め、区のために責任感を持って働くことにやりがいを感じています。

## 成長したこと（よかったこと）

研修所に所属していた際は、研修の企画から運営、評価までを担当していました。所属していた半年間で、6本の研修を前任者から引き継いで運営・評価し、6本の次年度の研修を企画し後任に引き継ぎました。担当の研修は基本的に毎月あり、その運営を行いつつ、次年度の企画のための会議等を行っていました。そのため、スケジュール管理等の計画性が養われたと感じています。

# 先輩職員の近況

所 属：厚生部厚生管理課  
採用区分：I 類採用（採用3年目）

## ある1日のスケジュール

5:10	・起床 朝食の準備や身支度を整える
7:00	・出発 電車で音楽を聴いたり動画を見て過ごす
7:50	・登庁
8:00	・始業 時差勤務(※)を活用
9:00	・午後の打合せに向けて内容の確認
10:30	・委託業者との打合せ
12:00	・先輩や同期とランチ
14:00	・打合せに向けて出発
15:00	・区役所での打合せ 区合築施設のしゅん工にあたり工事費負担金等を確認
16:45	・打合せ終了 終業時間になったので職場に戻らず自宅へ直帰

(※) 1日の勤務時間(7時間45分)を変えずに、始業・終業時間をずらして勤務できる制度です。  
理由を問わず、業務に支障のない範囲で9つのパターンから勤務形態を選択できます。

## 特人厚を志望したきっかけ

大学3年生時にオンライン説明会に参加しました。そこで23区全体に貢献できる業務ができること、23区や東京都などからの派遣職員が多く在籍しており、様々な経験や視点を持った職員と働けるということに魅力を感じたため、特人厚を志望しました。

## 現在の仕事のやりがい

施設整備担当として、23区内に約20施設ある厚生関係施設の工事や維持管理業務に携わっています。修繕工事から改築工事まで様々な工事を実施する中で、建築の専門的な知識が必要であるため難しい業務ではありますが、無事に工事が完了したときにやりがいを感じます。

## 成長したこと（よかったこと）

厚生関係施設の工事を計画どおり進めるにあたり、業務の全体像と自分の担当業務を的確に理解したうえで、どの時期に何を行うべきかを把握して業務を遂行し、適切なタイミングでの報連相ができるようになったと認められたときに成長を感じました。また、23区等からの派遣職員が多く在籍しているため、様々な経験をしている職員から日々刺激をもらいながら働けることが非常によかったです。

# 特人厚のことをもっと知るには



特別区人事・厚生事務組合

<https://www.union.tokyo23city.lg.jp/>



公益財団法人特別区協議会

<https://www.tokyo-23city.or.jp/index.html>



特別区長会

<https://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>







**皆さんと一緒に働ける日を  
心よりお待ちしております**

**TOKYO  
23区**